

5 業務概要

○微生物課 ウイルス担当

微生物課ウイルス担当では、感染症や食中毒に係る病原微生物の試験検査、食品などのウイルス検査を実施しました。

また、感染症発生動向調査を実施し、感染症の動向を総合的に把握するとともに、検査・分析により感染症の予防及びまん延防止に努めました。

令和2年度の検査状況は、表1に示すとおりです。総検査数は、19,751件でした。

表1 ウイルス担当試験検査(令和2年度)

令和3年3月31日現在

項目	検査件数	検 体 数			延検査項目数	
		行政検査	依頼検査	調査研究		小 計
感染症発生動向調査				57	57	285
食中毒・感染症集団発生調査	15				15	135
エイズ(HIV 検査)	5				5	18
麻疹・風しん	3				3	21
リケッチア	41				41	123
リケッチア抗体検査	2				2	4
重症熱性血小板減少症候群	24				24	24
A型肝炎	2				2	2
新型コロナウイルス	19,139				19,139	19,139
計	19,231	0		57	19,288	19,751

1 行政検査

(1) 感染症発生動向調査事業

5病原体定点など(表2)から、令和2年度は57検体が搬入され、疾患名は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、無菌性髄膜炎、ヘルパンギーナ及びインフルエンザなどでした。

検出されたウイルスは、コクサッキーウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルス、ヘルペスウイルス、ノロウイルス、パルボウイルス及びライノウイルスなどでした。

事例・資料編:佐賀県感染症発生動向調査事業におけるウイルス検出状況
(令和2年度)参照

表2 病原体定点の分類別医療機関数

	インフルエンザ	小児科	基 幹
医療機関数	5	2	6

(2) 食中毒・感染性胃腸炎集団発生事例

3 事例、15 検体(便 12、食品 3)について調査しました。

表 3 食中毒・感染性胃腸炎集団発生事例とウイルス検出状況一覧(令和 2 年度)

No.	依頼日	原因施設 (推定)	管轄 保健所	検体	P C R 検査結果			
					検出ウイルス	検体数	陽性数	遺伝子型・亜型
1	2020.10.9	保育施設	伊万里	便	NoV	6	2	G I
2	2020.12.26	飲食施設	杵藤	便	NoV	2	2	G .4
				食品		3	0	
3	2020.12.26	高齢者福祉施設	杵藤	便	NoV	4	2	G .4

(3) エイズ(HIV検査)

佐賀県特定感染症検査事業のHIV抗体検査実施マニュアルに基づき、血清 5 検体について二次スクリーニング検査(ELISA 法、PA 法)及び確認検査(ウエスタン・ブロット法)を実施した結果、4 件の陽性を確認しました。

(4) 麻しん・風しん

麻しん及び風しん疑い患者の検体について、RT-PCR 法による検査を 1 事例(3 検体)実施した結果、麻しんウイルス及び風しんウイルスは検出されませんでした。

(5) リケッチア検査

日本紅斑熱及びツツガムシ病リケッチア疑い患者の検体について、痂皮及び急性期血液から抽出したDNAを用いたPCR法による検査を 27 事例(41 検体)について実施した結果、ツツガムシ病 1 事例(2 検体)、日本紅斑熱 8 事例(9 検体)の陽性を確認しました。

また、PCR 陰性事例のうち 2 事例のペア血清(急性期および回復期血清)について、ツツガムシ病の病原体 O.tsutsugamushi(5 株) 及び日本紅斑熱の病原体 R.japonica(YH 株)に対する間接蛍光抗体法を実施した結果、1 事例が R.japonica(YH 株)陽性となりました。

(6) 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)検査

SFTS 疑い患者の検体について、RT-PCR 法による検査を 22 事例(24 検体)について実施し、4 事例(4 検体)の陽性を確認しました。

(7) A 型肝炎

A 型肝炎患者の検体について、RT-PCR 法による検査を 2 事例(2 検体)実施しましたが、2 事例ともに陰性でした。

(8) 新型コロナウイルス検査

新型コロナウイルス疑い患者の検体について、リアルタイム PCR 法による検査を 19,139 検体実施し、913 検体の新型コロナウイルス陽性を確認しました。このうち 96 検体は陰性確認の検体でした。

事例・資料編:佐賀県における新型コロナウイルス検出状況
(令和 2 年度)参照

2 精度管理

検査の信頼性確保を目的として、外部精度管理に参加しました。

- (1) 厚生労働省外部精度管理事業「インフルエンザウイルスの核酸検出検査」
- (2) 厚生労働省外部精度管理事業「新型コロナウイルス感染症の PCR 検査等にかかる精度管理調査」

3 調査研究

(1) 共同調査

新型コロナウイルス陽性と判定された検体について、積極的疫学調査として国立感染症研究所に残余 RNA を送付しました。厚生労働省等においてクラスター対策等の分析に用いられるとともに、GISAID に登録されました。